

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	はちみつ會
支援対象者・エリア	福島県内在住の小学生以下の子どもとその保護者
企画開催地	埼玉県長瀬市カラッポのおうち
企画名称	福島の親子・森あそびツアー
実施期間	2020年11月6日～8日 11月21日～23日

支援活動の目的・内容・感想

(どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など)

2011年の福島原発事故により、福島県内を中心に放射能物質が拡散され、自然環境が破壊された。子どもの健康面に不安を感じた多くの大人たちは、住むところや食事、遊ぶ場所に配慮し、県外に避難した家族も大勢いた。東京でも不安を感じた母親たちと一緒に市民測定室を立ち上げる中で、保養の重要性に気づき、2013年に仲間たち数人と立ち上げ、以後、1年に2回、60人近くの福島の家族を町田市 of 保養施設に宿泊してもらい、親子共にリフレッシュできる時間を一緒に創っている。

一緒に手伝ってくれるボランティアを多く募集する中で、福島の現実を知り、驚く人や自分の事として考える人達が増えて、その姿を見て福島の人たちも勇気づけられたと感想を頂いた。特に大学生ボランティアの存在は、若い人達が福島の現状に関心を持ってきて嬉しいという声が多かった。その後、中々保養キャンプに参加しにくいという保護者の声を受けて、障がいを持つ子ども達も積極的に受け入れるようになった。更に縁あって東京の障がいを持つ人がボランティアとして関わることもお願いを始めている。障がいを持った方が福島の人達の話聞いて「あなたたちは、私たちと同じように色眼鏡で見られているのですね」と言われたのは、本当に心を揺さぶられる体験だった。年々、福島の現状に関心が薄れていく世の中だが、不安を感じながら出来る事を大切にして暮らしている福島のご家族に学ぶことはとても大きい。今後も継続していきたいと思っている。

活動の様子 (写真など)



青空のもと、埼玉県長瀬の「カラッポのおうち」でリフレッシュ!

※本レポートに掲載された写真はパルシステム東京ホームページ等で公開させていただきます。予めご了承ください。